



1e2021-001 公

2021 会計年度

# 一般財団法人ワンアース 事業計画書

2020 年 10 月

一般財団法人ワンアース



1e2021-001 公

## はじめに

一般財団法人ワンアースは、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを体感し、ひとつの星で共生するという新しい価値観に基づいた文化交流で、世界を一つに繋いでゆくために、2015年6月5日に創立された。

本書は、当財団の2021年度(2020年10月1日から2021年9月30日まで)の事業計画を示すものである。

2020年10月1日

代表理事 長谷川洋一

## 設立目的

(定款より)

宇宙飛行士が、宇宙から生々しい言葉と映像を伝える時代になり、この星のありのままの姿が認知されるようになった。その結果、かけがえのない母星で共に生きる『地球市民』という新たな価値観が、国境を越えて醸成されつつある。

一般財団法人ワンアース®(以下、ワンアースという)は、地球市民、とりわけ未来を担う青少年らとともに、宇宙的視点から、この星の、いのちの美しさを学ぶ。

そして、国境を越えた地球市民活動を展開し、各地域の風土や文化の多様性を、相互に敬意を持って受け入れ、宇宙文化とも言える新たな共通の価値観を紡ぎ出す。

これらの活動により、この星に生きる誇りと喜びを共有し、世界を一つに繋いでゆくことを究極の目標とする。



## 1. 活動分野

### 1. 1. これまでの活動

当財団は、2015 年の設立以来、以下の分野を重視してきた。

#### 1) きぼうの桜事業

宇宙桜(きぼうの桜)を筆頭に、宇宙すみれ等を、東日本大震災、阪神淡路大震災、日航機墜落事故、原爆等の被災自治体に贈呈し、地域間、世代間、そして未来との「立体交流」の礎を築きつつ、大災害の記憶と教訓を 31 世紀まで継承するための礎を築く。

#### 2) 宇宙文化の創造事業「東北復興宇宙ミッション」

国内外からの地球市民の参加を得て、国際宇宙ステーション等を活用した宇宙ミッションを始動し、宇宙的視野からみた地球の姿および宇宙飛行士からのメッセージなどを世界で共有し、宇宙文化を創造していく。

具体的には、東日本大震災発災から 10 年にあたる2021年3月11日に向け、東北復興の姿と支援への感謝の気持ちを全世界に伝えるための宇宙ミッションを実行する。国際宇宙ステーション(ISS)を放送局に、宇宙飛行士をアナウンサーに見立てて世界の注目を集める計画。

### 1. 2. 今後の活動

2021 年以降は、これまでどおりの「きぼうの桜」、「宇宙ミッションおよび宇宙文化創造」を次のように発展させていく。

#### 1) きぼうの桜事業の発展

宇宙桜(きぼうの桜)等を大災害からの復興を目指す自治体のほか、本気で地域の未来創造に取り組む自治体にも植樹し、地域間／世代間の継、そして未来への遺産を実現する「立体交流」を確立することにより、21 世紀の記憶と教訓を 31 世紀まで継承するための礎を築く。

#### 2) 宇宙文化の普及事業

東北被災地はじめ、多くの地球市民の参加を得て、国際宇宙ステーション等を活用した「東北復興宇宙ミッション 2021」を実行継承し、宇宙文化のプロデューサーとしての社会的評価を確立する。この事業を足掛かりに、宇宙的視野からみた地球の姿および宇宙飛行士からのメッセージなどを世界で共有し、宇宙文化を創造していく。



## 2. 今年度(2021 年度)事業計画

### 2. 1. 全体方針

定款に則った活動の実績を上げつつ、公益財団化を見据えた会計システムに則りつつ、受注活動も促進し、財政基盤の強化を行う。

きぼうの桜計画は、引き続き当財団の存在意義に関わる最重要事業として推進し、東北三県沿岸の全市町村にて計画を公式化し、その5箇所程度において、春期に植樹祭を行う。また、きぼうの桜をとりまく市民文化の醸成のため、物語および歌(合唱曲)を広く周知する。

さらに、2021 年 3 月 11 日を中心に据えた東北復興宇宙ミッションを企画実行し、外部有識者・協力者らの意見も取り入れつつ、復興史に残るような市民プロジェクトに育て上げる

また、ワンアースの活動をグローバルに認知してもらうために、全地球的な課題である気候変動への対応意識や自然資本の保護意識向上を推進し、公的補助金等を積極的に獲得し、メディア露出含めた広報努力を行う。

以上の方針により、2021 年度(2020.10.1-2021.9.30)は、次項に示す各事業を遂行することとする。



1e2021-001 公

## 2. 2. 個別事業計画

### 1) きぼうの桜

宇宙を旅した「きぼうの桜」を、再生のシンボルとして復興各地に贈呈・植樹する。桜の植樹後、恒久的な養育までを含むため、その事業期間は千年以上と想定している（当面の表記上は、3011年3月11日までとする）。この事業をきっかけに、各地の市民・青少年交流を醸成し、ワンアースが掲げるあらたな夢と希望の宇宙文化活動を実現していく。

きぼうの桜事業の詳細については文書番号 1e2021-002「きぼうの桜計画 2021年度版」に定め、随時改訂していくものとする。

**きぼうの桜**

津波の被害を受けた全ての市町村の津波到達点上に宇宙桜を植えます

千年の津波から、千年の桜が守ってくれる

被災地に寄り添い、未来への決意を込めて参加する地域

①巨桜が避難の目印に  
安全圏を示す、子孫に伝承できる目標物

②雄々しい宇宙桜は希望のシンボル  
尋常でないその生命力は、観る者に生きる力を与えてくれる

③新しい観光資源として  
一本有るだけで渋滞が起こるほどの観光名所になる

④東北海岸で宇宙桜の巡礼ができる  
地域交流、そして数千年続く文化事業を、今、はじめましょう

宇宙桜とは、若田光一宇宙飛行士とともに、宇宙を旅し、地球を4100周した名桜（日本三大桜舎）の種から育てられた巨桜の直系子孫。数千年生き、公園の桜の数倍巨大化する、稀少な品種です。

山高神代桜 山梨県北杜市 樹齢2000年  
根尾谷淡墨桜 岐阜県本巣市 樹齢1500年  
三春滝桜 福島県三春町 樹齢1000年  
醍醐桜 岡山県真庭市 樹齢1000年  
ひょうたん桜 高知県仁淀川町 樹齢500年  
角館武家屋敷桜 秋田県仙北市 樹齢300年超

一般財団法人ワンアース  
<http://www.the-one-earth.org/jp/>

青字は実施計画中  
桜色♡は植樹済み(15)  
<2021年3月時点>

本年度の業務範囲は、以下の通りとする。



1e2021-001 公

- ① 東北三県沿岸の全ておよび原発事故の被災地市町村(40)において、当該計画を公式化する(岩手沿岸12、宮城沿岸15、福島沿岸10・内陸3)
  - ◇ 2021年3月現在15市町村に植樹済み
  
- ② 宇宙桜・苗を保有する各地域を廻り、復興のための苗の提供に係る協力関係の維持に努める
  - ◇ 秋田県仙北市(宇宙武家屋敷枝垂桜)
  - ◇ 福島県三春町(宇宙滝桜)
  - ◇ 山梨県北杜市(宇宙神代桜)
  - ◇ 岐阜県岐阜市(宇宙星桜)
  - ◇ 岡山県真庭市(宇宙醍醐桜)
  - ◇ 高知県仁淀川町(宇宙ひょうたん桜)
  - ◇ 兵庫県淡路市夢舞台(宇宙スミレ)
  - ◇ 岩手県洋野町(宇宙ひょうたん桜中継基地)
  
- ③ きぼうの桜サミット(コロナ後の秋@山梨県北杜市)
  - ◇ 東日本大震災の記憶と教訓を風化させずに後世に伝える広域交流コミュニティを醸成する
  - ◇ 特に今回は、五輪フィーバー後の世間の目を、いま一度、復興に集めるとともに、宇宙と青少年をテーマにした新しい東北のイメージを樹立し、参加各地の力も借りて、これを広く発信し、風評払拭に大きく寄与することを目指す
  - ◇ 今回は特に宇宙ミッション成果物である、各地からフライトした花や農産物の種など「未来のお宝」をアピールし、参加者・観覧者に強烈な印象を与える。



- ◇ 共同宣言は継続的宇宙文化利用への提言とする
- ◇ サミットのレガシーを残すため、次世代を担う小中高生が数多くそして深く参画できるよう配慮する。学校行事に準ずる扱いで参加を募ることも検討。また、彼



1e2021-001 公

等が宇宙ミッションを発案するために必要な基礎知識が得られるよう事前の宇宙ワークショップ等も開催する。

- ◇ 参加地域が多すぎるため、各代表に十分なスピーチの時間が割けない。これを埋め合わせるためにも展示ブースを十分に確保する。できれば或一定期間展示を続け、一般市民にも広く見ていただける方法を模索したい

【参考】過去の開催概要

回数	開催地	会期	参加地域数	参加人数	予算規模
第1回	宮城県七ヶ浜町	2017年8月	6	100	150万円
第2回	兵庫県淡路市	2018年5月	12	300	250万円
第3回	福島県檜葉町	2018年8月	15	300	350万円
第4回	岩手県洋野町	2019年7月	13	500	500万円

④ 合唱曲「きぼうの桜」の普及活動

- ◇ 作詞 村田さち子先生、作曲 しゅうさえこ先生
- ◇ 各市町村での贈呈及びサミットで必ず歌われるようにする
- ◇ 許可を得て子どもたちの歌唱の姿を Youtube で公開する
- ◇ 全国の著名な合唱団、小中高校等への紹介を継続

2) 東北復興宇宙ミッション 2021

東日本大震災の記憶と復興 10年のイメージを語る「写真」「記念品」「感謝の言葉」を国際宇宙ステーション(以下 ISS)に打ち上げる。ISSを放送局に、宇宙飛行士をアナウンサーに見立て、世界の注目を集める。

岩手、宮城、福島三県沿岸の全市町村を含む42市町村の首長を実行委員とし、実行委員長は山崎直子宇宙飛行士(一般財団法人ワンアース名誉顧問)である。

復興10年を語る写真等は、各自治体から電子データで集め、福島県川俣町特産の絹羽二重薄布に高精細印刷し、同町の福田小学校6年生たちが縦1m横7mの横断幕に縫製した。これがISSの日本実験棟「きぼう」内に展開される。JAXA野口聡一宇宙飛行士がその前に立ち(浮き)、各地で公募された世界への感謝のメッセージを要約して読み上げる。これを動画に編集し、2021年3月11日、全世界に公開する(参加各自治体およびマスメディアにも事前に配信)。

一方、被災各地からの記念品(ご当地の花や農作物の種等等)を打ち上げる枠も(自治体ごとに10g)設定している。記念品は、ポスト10年の復興への期待を担い2021年



1e2021-001 公

5月に打上げ、横断幕とともに2021年夏に地上帰還、以後各地で地域活性化や産業創生、震災の記憶と教訓の伝承に息長く役立てられる。

復興庁の助成(東日本大震災発災10年復興発信事業)と文部科学省の後援、そしてJAXAの協力を得て進められるこの事業は、復興発信と地域活性化のみならず、市民参加型の新しい宇宙利用の実例としても注目されている。

#### 【主なスケジュール】

～2020年10月：横断幕製作(11月2日、JAXAへ引渡完了)

2020年12月中：自治体ごとにメッセージ収集

2021年1月：自治体ごとにフライトする記念品(ご当地の花や農作物の種等等)準備

2021年2月：横断幕打上(米国アンタレスロケット&シグナス補給船)

2021年2月：国際宇宙ステーションでJAXA野口宇宙飛行士が感謝のメッセージ動画を撮影

2021年3月11日：感謝のメッセージ動画世界公開へ

2021年6月3日：各地からの記念物品打上(米国ファルコン9ロケット&ドラゴン補給船)

2021年7月：横断幕、各地記念品とも地上帰還(太平洋着水・ドラゴン補給船)

2021年8月：横断幕&各地記念品日本帰国、以後各地で復興および地域振興に活用

【実施体制】 敬称略・順不同・詳細別紙(被災地42市町村、復興支援6市町村)

委員長 山崎直子(宇宙飛行士・一般財団法人ワンアース名誉顧問)

委員 東日本大震災で被災した42市町村の首長

特別委員(復興に協力する全国の自治体) 上村英司(山梨県北杜市長)、大石弘秋(高知県仁淀川町長)、坂本浩之(福島県三春町長)、守本憲弘(兵庫県南あわじ市長)

事務局長 長谷川洋一(一般財団法人ワンアース代表理事・きぼうの桜計画代表)

特別協力 三陸鉄道株式会社、一般社団法人槌音、日本宇宙少年団福島分団、株式会社夢舞台、Tohoku Space Community、NPO法人チームふくしま、一般社団法人みちのく巡礼

### 3) 広報





1e2021-001 公

- ① ワンアースのホームページ、パンフレット等を随時維持改訂する
- ◇ 迅速ではなく神速改訂に努め、活動報告や各種公示を遅滞なく実施
  - ◇ 特にきぼうの桜計画および宇宙ミッションについては、各関係者が最新情報を分かり易く受け取れるよう配慮
  - ◇ 宙だよりスタジオ(赤木評議員)、ひたち野きずな塾(古川顧問)はじめ、関連法人等とのリンクによるプロモーション効果
  - ◇ パンフレットには提携しているカリスマ犬「サモエド犬のソラ」などのキャラクターを活用し、ホームページ閲覧への誘因効果を得る
  - ◇ 2次元キャラとして、「ちいちゃん」を採用し、活用する(作者は もふぴよ氏で、無償利用の合意済)。



- ② イベント等の活用
- ◇ イベント学会はじめ、JAXA 関連イベント、宇宙コミュニティの集会等における発表もしくは展示機会を、効果的に利用する
  - ◇ 発表機会には、関係する青少年も登壇できるチャンスを創出する
  - ◇ 全日本合唱連盟を通じた合唱コミュニティネットワークの活用